

シカゴ双葉会日本語学校全日校 学校だより

2024年7月1日

わかば 7月号

学校教育目標 学びを **愉しく** 人と **仲よく** 心も身体も **元気よく**

～創立当時の思いを受け継ぎ、世界一の日本人学校を目指します～

日本国文部科学省認定校 シカゴ日本人学校 校長 長谷川 雄一



心をひとつにできた 運動会

6月9日(日) 青天の恵まれた素晴らしい運動会ができました。ご来賓の皆さま、多くの保護者の皆さまに応援していただき、盛大に終えることができました。

中学部生徒の運営全体や応援を含めたさすがと思わせるリーダーシップの数々、小学部6年生と小学部5年生の創意工夫と自信にあふれた表現運動、小学部4年生と小学部3年生の広い校庭を思い切り飛び回るエネルギーでキュートな表現運動、小学部2年生と小学部1年生の明るく元気で一生懸命に演じた表現活動、うさぎやリスに負けない走りをみせてくれたそれぞれの徒競走やリレー、ラジオ体操の6年生の模範演技もすばらしいものでした。感想発表の小学部代表児童と中学部代表生徒のスピーチは、最後を締めくくるのにふさわしい内容でした。スローガンやプログラム表紙絵も多くの児童生徒の協力があり、優秀な作品が選ばれています。

保護者の皆さまの参加もあり、笑顔が溢れ、児童生徒が心をひとつにできた運動会でした。かたづけも昨年に引き続き、お手伝いいただき、お陰様ですぐに終わることができました。重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



柔道 リオデジャネイロオリンピックメダリスト，世界選手権優勝

羽賀龍之介選手をお迎えして

6月20日（木）小学部1年生から5年生，小学部6年生から中学部3年生の2部制に分かれて会を開きました。銅メダルとはいえ，世界選手権では優勝もされており，そのレベルではほぼ差はなく，世界の頂点に立つた選手と言っても過言ではありません。羽賀選手の言葉や実演から，たくさんのオーラが溢れていました。

羽賀選手が持参した五輪メダルには，多くの児童生徒，保護者の方にあの時の感動が伝わりました。メダルは想像以上に重く（手にのせるとズシリと感じます），メダルにもひもの部分にも多くの方が触れた跡が残り，やはりオリンピックのメダルは羽賀選手の努力と多くの人々の思いが詰まる重いものがありました。

控室で羽賀選手は今季限りで引退されるとのことでした。来年には旭化成の社員としてイギリスかドイツに駐在されるそうです。昨年度のバイオリニスト田島奈央子さんに続いて，世界のトップに立つ人との触れ合いは，日本人学校ならではのです。事務室前のガラスケースに色紙とサインが入る柔道着を展示しておきます。



ロックダウン訓練を行いました

6月12日（水）日本国内校ではない訓練です。

私も国内で長年在外教育施設の資料を読むたびに、このロックダウン訓練との文字を見てきましたが、どうもイメージが付きませんでした。

しかし、昨年から実際に見て、なるほどと思いました。アメリカでは特に他人事にはできない大切な訓練であることも理解できました。本校の園児、児童生徒は日頃の担任の先生の指導もあり、すぐに行動ができ、毎年ポリスのみなさんからお褒めの言葉をいただきます。（ポリス3名と見習いのポリスという方1名が指導に来校）いざと言う時のために、しっかりと備えをしています。



帰国生相談会 海外子女教育振興財団と7校の学校が来校

6月25日（火）帰国生のための学校説明会と相談会が開催されました。

早朝の暴風雨にもかかわらず、多くの保護者の方の参加がありました。海外子女教育振興財団の教育アドバイザーから帰国生の受入れ状況、そして7校の学校の先生方からはそれぞれの学校の紹介と帰国生受入れについて詳しいお話がありました。

ほとんどが関東地方の私立学校でしたが、学齢期の子どもが減少する中、獲得競争の厳しい首都圏の学校では「よい生徒を一人でも入学させたい」との熱意が伝わってきました。過去の実績や栄光に胡坐をかく学校はすでになく、毎年毎年、新しい取り組みや工夫がなされ、帰国生が学びやすく、その特性を活かして、次の大学入試につなげようとしています。初めて名前を聞く学校もありましたが、もしわが子がその年齢なら入れてもよいと思える教育内容でした。参加された保護者の方も多くが7校それぞれのブースに足を運ばれ、相談する様子が伺えました。たとえ、首都圏に帰国しなくても、日本の今の高等教育がどう変化しているかを知るよい機会でした。



通知表について

7月19日（金）に1学期の終業式を迎えます。

今年度から通知表の形式が変わります。詳細は後日お知らせしますが、毎学期記載されていた所見が毎学期ごとでなく3学期に1年を通した記載となります。これは個人面談もあり、担任の先生から児童生徒の様子を直接お伝えしている現状からそのようにしました。他には表紙にある保護者・担任・校長の印をなくしました。現在日本国内でも様々な場面で印鑑が廃止されています。本校においても保護者欄にサインのご家庭や無印のご家庭も増えていきますので、今回なくすことにしました。日本国内では親に通知表を見せない子どももたまにいますが、本校ではそのような児童生徒は一人もいないため、そのような形としました。

夏季休業中の連絡について

夏休み中ですが、7月29日（月）～8月2日（金）の週は学校閉鎖日となり、オフィスを含め教職員が一人も校内にいない状態になります。それ以外の日（土日は除きます）は職員室に日直がいます。まずはオフィスの方に用件をお伝えいただければと思います。なお、夏季休業中は例年どおり現地の社会慣習を考慮し、教職員は午前9時から午後3時までの勤務となります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

8月と9月の予定（大きな行事のみ）

8月20日（火）2学期始業式 バス集会 下校12時

26日（月）～30日（金）夏休み作品展

30日（金）中学部連邦裁判所見学（予定）

9月 4日（水）～6日（金）小学部修学旅行（ワシントンDC）